

あなたは今すぐ医療機関に受診を!

この通知は健診結果において、血圧値、空腹時血糖値(またはHbA1c)、LDLコレステロール値が「要治療」「要精密検査」と判断された方のうち、健診受診前月および健診受診月をきんだ健診受診後3か月以内に医療機関の受診が確認できなかった方にお送りしています。なお、本状と行き違いで既に医療機関にご相談、受診されていたら失礼のほど何卒ご容赦ください。受診の際は医師の判断の参考となりますので、本状と健診結果をお持ちください。

あなたの健診結果は

血圧		血糖	HbA1c値		脂質	尿蛋白
収縮期血圧値	拡張期血圧値	空腹時血糖値			LDLコレステロール値	尿蛋白
mmHg	mmHg	mg/dL	%		mg/dL	
収縮期血圧値	拡張期血圧値	血糖	HbA1c値(NGSP)	脂質	尿蛋白	
mmHg	mmHg	mg/dL	%	LDLコレステロール値		
正常血圧	<120	<80	<5.6	<120	-	
正常高値血圧	120-129	<80	<100	120-139	±	
高値血圧	130-139	80-89	<110	140-179	+	
I度高血圧	140-159	90-99	<6.0	≥180	++	
II度高血圧	160-179	100-109	≥126		+++	
III度高血圧	≥180	≥110	≥6.5			
		糖尿病型				

ここ!

ここ!

ここ!

ここ!

気づかぬうちに…「生活習慣病」

高血圧症、糖尿病や脂質異常症等の生活習慣病は、自覚症状がないまま徐々に進行するもの。健診で「要治療」「要精密検査」の結果が出たら、自分の身体の状態を見直す大きなターニングポイント。早期に受診することで、重大な病気のリスクを下げられます。



出典:厚生労働省「生活習慣病のイメージ」を基に作成

高血圧、高血糖、脂質異常等を放置するとどうなる?

高血圧

▶正常血圧と比べて血圧が高くなるほど脳卒中(脳出血、脳梗塞等)の発症リスクが高まります。
収縮期血圧値:160mmHg以上 5.2倍
拡張期血圧値:100mmHg以上
収縮期血圧値:180mmHg以上 8.4倍
拡張期血圧値:110mmHg以上
出典:日本高血圧学会
「高血圧治療ガイドライン2019」を基に作成

高血糖

▶高血糖の状態を放置すると、場合によっては、人工透析が必要になってしまいます。
その約4割は糖尿病性腎症が原因です。
出典:日本透析医学会統計調査委員会
「わが国の慢性透析療法の実況(2020年12月31日現在)」

脂質異常

▶LDLコレステロール値が180mg/dL以上の方は、100mg/dL未満の人と比べて約3~4倍、心筋梗塞等になりやすことが分かっています。
出典:厚生労働省 健康局
「標準的な健診・保健指導プログラム(令和6年度版)」

尿蛋白陽性

▶慢性腎臓病の疑いがあります。慢性腎臓病の方は、そうでない人と比べて透析治療が必要な状況になりやすことが分かっています。
出典:厚生労働省 健康局
「標準的な健診・保健指導プログラム(令和6年度版)」

動脈硬化

▶脳出血、脳梗塞
▶狭心症、心筋梗塞

糖尿病

▶網膜症
▶腎症
▶神経障害

慢性腎臓病